



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部長 (氏名) 勘田 浩之

TEL 072-991-1001

定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	39,627	6.4	7,777	35.1	9,472	22.4	7,247	32.0
2022年3月期	37,248	25.8	5,758	45.9	7,738	60.9	5,491	60.0

(注) 包括利益 2023年3月期 7,409百万円 (22.9%) 2022年3月期 6,026百万円 (39.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2023年3月期	2,259.37		11.3	12.2	19.6
2022年3月期	1,697.19		9.0	10.7	15.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 85百万円 2022年3月期 129百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2023年3月期	79,190	66,470	81.7	22,294.84
2022年3月期	76,207	63,392	83.0	19,544.43

(参考) 自己資本 2023年3月期 64,693百万円 2022年3月期 63,237百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	5,419	144	5,933	45,877
2022年3月期	4,335	685	983	44,873

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		350.00	350.00	1,132	20.6	1.9
2023年3月期		0.00		350.00	350.00	1,015	15.5	1.7
2024年3月期(予想)								

2024年3月期の配当予想は、現時点では未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現段階では未定としています。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	4,512,651 株	2022年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2023年3月期	1,610,915 株	2022年3月期	1,277,085 株
期中平均株式数	2023年3月期	3,207,608 株	2022年3月期	3,235,713 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	39,203	6.0	7,871	37.1	9,497	24.3	6,713	24.1
2022年3月期	36,967	26.1	5,742	47.4	7,642	63.3	5,408	62.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	2,093.10	
2022年3月期	1,671.46	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	75,048	62,758	83.6	21,627.82
2022年3月期	74,513	61,606	82.7	19,040.36

(参考) 自己資本 2023年3月期 62,758百万円 2022年3月期 61,606百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、各国政府による新型コロナウイルス感染症防止対策と経済活動の両立が進んだことなどから消費や投資が拡大する一方、半導体不足による自動車の減産、原材料価格の高騰、欧米で端を発した金融不安、物価の大幅な上昇とこれに対応するため各国が利上げを実施したことにより、景気が冷え込んでおります。また、ロシア連邦によるウクライナ共和国への侵攻は収束の気配が見えません。

国内においては物価の大幅な上昇と、外国為替相場は乱高下を繰り返し、先行きの不透明感は更に強まっております。

当社グループとしましては、世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、円安による外貨建売上の為替換算の影響により売上高39,627百万円(前年同期比6.4%増)、また、原材料価格、光熱費の高騰があったものの、売上高増加が寄与し、営業利益7,777百万円(前年同期比35.1%増)、さらに、円安による外貨建預金等の換算替えを行い為替差益を1,164百万円計上したことにより、経常利益は9,472百万円(前年同期比22.4%増)、台湾の関連会社を子会社化したことに伴い、段階取得に係る差益578百万円を計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益7,247百万円(前年同期比32.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

日本における当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は38,818百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は7,871百万円(前年同期比37.1%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内でのスポーツ衣料向けは好調に推移しているもののカジュアル衣料向けは低調となっており、自動車向け資材も生産調整により低迷しています。また、非繊維工業分野ではトイレタリー向けは好調でしたが自動車向けが販売縮小となりました。海外向けは総じて堅調で、外部顧客に対する売上高は23,703百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維関連における産業資材用途は自動車の生産量は回復してきたものの内装材向けの加工量は引き続き低調で、衣料用途は底を打ったものの十分な回復には至っておりません。海外向けは総じて堅調で、外部顧客に対する売上高は3,798百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内でのシャンプー・家庭用洗剤向けは好調でしたが海外向けは低調となり、外部顧客に対する売上高は926百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では衣料の国内生産は回復しつつありますがいまだコロナ禍前の数量には戻っておりません。非繊維工業関連では国内では自動車メーカーの生産調整の影響を受けましたが海外では拡販が進んで前年同期を上回る販売となり、外部顧客に対する売上高は10,389百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

② アジア

アジアにおける当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は809百万円(前年同期比32.2%増)、セグメント利益(営業利益)は67百万円(前年同期比214.6%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、既製品の販売縮小が続く一方当期に新規に採用された製品の売上がそれを補って余りある結果となり、その結果、外部顧客に対する売上高は492百万円(前年同期比22.4%増)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、海外市場が縮小傾向にありますが、自国内で販路を拡大することに成功しました。その結果、外部顧客に対する売上高は295百万円(前年同期比49.2%増)となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られませんでした。外部顧客に対する売上高はそれぞれ12百万円(前年同期比49.0%増)及び8百万円(前年同期比175.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、79,190百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、61,787百万円となりました。これは、現金及び預金が17,771百万円、その他が1,163百万円、受取手形及び売掛金が919百万円減少したものの、有価証券が19,998百万円、商品及び製品が994百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.2%増加し、17,402百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が234百万円減少したものの、土地が1,089百万円、投資有価証券が440百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、10,922百万円となりました。これは、その他が356百万円増加したものの、買掛金が889百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27.5%増加し、1,796百万円となりました。これは、繰延税金負債が299百万円、退職給付に係る負債が70百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、12,719百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、66,470百万円となりました。これは、自己株式の取得により4,799百万円減少したものの、利益剰余金が6,114百万円増加したことなどによるものです。

この結果自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から81.7%となりました。

期末発行済株式数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の19,544円43銭から22,294円84銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、1,003百万円増加し、当連結会計年度末には、45,877百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5,419百万円の増加（前連結会計年度は4,335百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益10,044百万円、売上債権の減少額1,203百万円、減価償却費934百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額2,783百万円、為替差益1,383百万円、棚卸資産の増加額1,105百万円、仕入債務の減少額981百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは144百万円の増加（前連結会計年度は685百万円の減少）となりました。

収入の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入1,190百万円、定期預金の払戻による収入1,020百万円、投資有価証券の償還による収入402百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出1,020百万円、投資有価証券の取得による支出1,006百万円、有形固定資産の取得による支出435百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは5,933百万円の減少（前連結会計年度は987百万円の減少）となりました。支出の主な内訳は、自己株式の取得による支出4,799百万円、配当金の支払額1,131百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、金融不安の再燃、台湾をめぐる緊張の高まり等、引き続き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような情勢の中、当社グループにおきましても、原材料価格の大幅な上昇や想定を超えた為替レートの変動等により、コストアップ等の影響が生じるものとみられます。

従いまして次期の連結業績予想につきましては、現段階において合理的に算定することが困難なことから、配当予想とともに未定とさせていただきます。

なお、当該予想につきましては、算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,654	25,882
受取手形及び売掛金	9,989	9,069
電子記録債権	260	249
有価証券	1	20,000
商品及び製品	2,425	3,419
仕掛品	611	723
原材料及び貯蔵品	1,393	1,726
その他	1,946	733
貸倒引当金	△5	△17
流動資産合計	60,276	61,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,467	8,889
減価償却累計額	△5,841	△6,234
建物及び構築物(純額)	2,625	2,655
機械装置及び運搬具	14,501	15,304
減価償却累計額	△11,654	△12,692
機械装置及び運搬具(純額)	2,846	2,612
土地	530	1,619
建設仮勘定	5	97
その他	1,474	1,519
減価償却累計額	△1,329	△1,343
その他(純額)	145	175
有形固定資産合計	6,153	7,160
無形固定資産		
その他	31	24
無形固定資産合計	31	24
投資その他の資産		
投資有価証券	8,838	9,279
繰延税金資産	10	9
その他	900	932
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	9,745	10,218
固定資産合計	15,930	17,402
資産合計	76,207	79,190

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,436	7,547
未払法人税等	1,708	1,753
賞与引当金	332	337
その他	927	1,284
流動負債合計	11,404	10,922
固定負債		
退職給付に係る負債	993	1,064
資産除去債務	111	118
繰延税金負債	231	530
その他	72	82
固定負債合計	1,409	1,796
負債合計	12,814	12,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	56,049	62,164
自己株式	△7,326	△12,126
株主資本合計	61,332	62,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,891	2,261
為替換算調整勘定	△47	△194
退職給付に係る調整累計額	60	△20
その他の包括利益累計額合計	1,905	2,046
非支配株主持分	155	1,776
純資産合計	63,392	66,470
負債純資産合計	76,207	79,190

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	37,248	39,627
売上原価	27,438	27,612
売上総利益	9,809	12,015
販売費及び一般管理費	4,050	4,237
営業利益	5,758	7,777
営業外収益		
受取利息	8	4
受取配当金	133	163
持分法による投資利益	129	85
為替差益	1,525	1,164
受取賃貸料	43	42
助成金収入	28	-
投資事業組合運用益	-	176
その他	117	68
営業外収益合計	1,986	1,706
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	3	8
損害賠償金	0	-
その他	3	2
営業外費用合計	6	11
経常利益	7,738	9,472
特別利益		
固定資産売却益	0	0
有価証券売却益	38	-
段階取得に係る差益	-	578
移転補償金	-	27
その他	0	-
特別利益合計	39	605
特別損失		
投資有価証券売却損	0	-
固定資産除却損	1	10
棚卸資産廃棄損	-	22
特別損失合計	1	33
税金等調整前当期純利益	7,775	10,044
法人税、住民税及び事業税	2,318	2,781
法人税等調整額	△40	1
法人税等合計	2,278	2,782
当期純利益	5,497	7,261
非支配株主に帰属する当期純利益	6	14
親会社株主に帰属する当期純利益	5,491	7,247

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	5,497	7,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	384	370
為替換算調整勘定	36	21
退職給付に係る調整額	5	△77
持分法適用会社に対する持分相当額	102	△166
その他の包括利益合計	528	148
包括利益	6,026	7,409
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,007	7,387
非支配株主に係る包括利益	18	22

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,518	51,529	△7,322	56,814
当期変動額					
剰余金の配当			△970		△970
親会社株主に帰属する当期純利益			5,491		5,491
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	4,520	△3	4,517
当期末残高	6,090	6,518	56,049	△7,326	61,332

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,506	△164	44	1,386	142	58,343
当期変動額						
剰余金の配当						△970
親会社株主に帰属する当期純利益						5,491
自己株式の取得						△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	384	117	16	518	12	531
当期変動額合計	384	117	16	518	12	5,048
当期末残高	1,891	△47	60	1,905	155	63,392

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,518	56,049	△7,326	61,332
当期変動額					
剰余金の配当			△1,132		△1,132
親会社株主に帰属する当期純利益			7,247		7,247
自己株式の取得				△4,799	△4,799
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	6,114	△4,799	1,314
当期末残高	6,090	6,518	62,164	△12,126	62,646

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,891	△47	60	1,905	155	63,392
当期変動額						
剰余金の配当						△1,132
親会社株主に帰属する当期純利益						7,247
自己株式の取得						△4,799
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	370	△147	△80	141	1,621	1,762
当期変動額合計	370	△147	△80	141	1,621	3,077
当期末残高	2,261	△194	△20	2,046	1,776	66,470

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,775	10,044
減価償却費	929	934
のれん償却額	-	140
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	1
受取利息及び受取配当金	△141	△167
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	△1,477	△1,383
持分法による投資損益(△は益)	△123	△77
売上債権の増減額(△は増加)	△1,820	1,203
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,099	△1,105
仕入債務の増減額(△は減少)	1,762	△981
投資有価証券売却損益(△は益)	0	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28	△40
固定資産除売却損益(△は益)	1	10
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△578
その他の営業外損益(△は益)	△22	△173
未収消費税等の増減額(△は増加)	△44	44
未払消費税等の増減額(△は減少)	△349	168
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△13	△31
その他の流動負債の増減額(△は減少)	114	16
小計	5,528	8,030
利息及び配当金の受取額	181	171
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,374	△2,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,335	5,419

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△462	△435
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△224	△1,006
投資有価証券の売却による収入	3	-
投資有価証券の償還による収入	0	402
無形固定資産の取得による支出	-	△2
定期預金の預入による支出	△1,020	△1,020
定期預金の払戻による収入	1,020	1,020
保険積立金の積立による支出	△64	△78
保険積立金の解約による収入	55	74
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	1,190
その他	5	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△685	144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3	△4,799
配当金の支払額	△970	△1,131
非支配株主への配当金の支払額	△7	-
リース債務の返済による支出	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△983	△5,933
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,525	1,373
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,192	1,003
現金及び現金同等物の期首残高	40,681	44,873
現金及び現金同等物の期末残高	44,873	45,877

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に界面活性剤を生産・販売しており、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、界面活性剤のほか、その他の製品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	3,221	8	3,230
非イオン界面活性剤	22,534	402	22,936
陽・両性イオン界面活性剤	998	3	1,001
高分子・無機製品等	9,881	197	10,079
顧客との契約から生じる収益	36,635	612	37,248
外部顧客への売上高	36,635	612	37,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	332	41	373
計	36,967	653	37,621
セグメント利益	5,742	21	5,763
セグメント資産	74,513	627	75,140
セグメント負債	12,907	184	13,092
その他の項目			
減価償却費	921	7	929
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	320	0	321

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	アジア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	3,798	12	3,811
非イオン界面活性剤	23,703	492	24,196
陽・両性イオン界面活性剤	926	8	934
高分子・無機製品等	10,389	295	10,685
顧客との契約から生じる収益	38,818	809	39,627
外部顧客への売上高	38,818	809	39,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	385	35	420
計	39,203	844	40,048
セグメント利益	7,871	67	7,938
セグメント資産	75,048	3,498	78,547
セグメント負債	12,290	481	12,772
その他の項目			
減価償却費	929	5	934
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	562	53	616

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	37,621	40,048
セグメント間取引消去	△373	△420
連結財務諸表の売上高	37,248	39,627

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,763	7,938
棚卸資産の調整額	△5	△20
のれんの償却額	-	△141
その他の調整額	0	-
連結財務諸表の営業利益	5,758	7,777

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	75,140	78,547
セグメント間取引消去	△209	△225
棚卸資産の調整額	△5	△14
その他の調整額	1,272	882
連結財務諸表の資産合計	76,207	79,190

(単位:百万円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13,092	12,772
セグメント間取引消去	△209	△225
その他の調整額	△76	173
連結財務諸表の負債合計	12,814	12,719

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	929	934	—	—	929	934
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	321	564	—	—	321	564

5 報告セグメントの変更等に関する事項

立松化工股份有限公司の株式を追加取得し連結子会社としたことに伴い、当連結会計年度より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「日本」「インドネシア」の区分から、「日本」「アジア」の区分に変更しております。

なお、前連結会計年度および当連結会計年度の報告セグメントを、それぞれの比較対象となる期間と同条件で作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	27,168	9,463	615	37,248

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
12,162	21,344	3,741	37,248

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	11,836	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	4,727	日本

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	28,942	10,035	649	39,627

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
12,688	23,257	3,682	39,627

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	合計
5,736	1,423	7,160

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	13,551	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	4,291	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	日本	インドネシア	計		
当期償却額	—	—	—	—	—
当期末残高	—	—	—	—	—

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	日本	アジア	計		
当期償却額	—	—	—	140	140
当期末残高	—	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	19,544.43円	22,294.84円
1株当たり当期純利益	1,697.19円	2,259.37円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,491	7,247
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,491	7,247
普通株式の期中平均株式数(株)	3,235,713	3,207,608

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	63,392	66,470
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)		
(うち非支配株主持分)	(155)	(1,776)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	63,237	64,693
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	3,235,566	2,901,736

(重要な後発事象)

該当事項はありません。